

令和元年12月定例会補正予算等の概要

1. 編成概要

今回の補正予算では、①国土強靱化等の防災・減災対策を推し進めるとともに、②地域経済の活性化や③東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツシティまつやまの推進のほか、④良好な都市・交通基盤の整備を図る。また、社会保障関係経費に対して必要な措置を講じるなど、引き続き、公約や総合計画の将来都市像の実現に向けた諸施策を推進する。

まず、①国土強靱化に関する本市の施策を中長期的視点を持って、総合的に推進するため、地域計画の策定に取り組む。また、災害時に福祉避難所で使用する資機材の整備や、急傾斜地でがけ崩れ防止対策を行うなど、防災・減災対策の一層の推進を図る。

次に、②観光施設等にキャッシュレス決済を導入し、インバウンドをはじめ、観光客の利便性を高めるとともに、ASF（アフリカ豚コレラ）対策として、農場を囲う防護柵や防鳥ネットの設置などに補助を行うほか、流域森林組合が実施する造林事業の経費負担を軽減することで森林環境の保全を推進する。また、債務負担行為を活用し、年間を通じた切れ目のない工事発注に取り組む。

次に、③東京オリンピック・パラリンピックに向けて、台湾代表チームへの合宿誘致を推し進め実現した事前合宿に対し、愛媛県と共に支援を行うほか、本市で実施する聖火リレーの準備を進める。

さらに、④国や県が実施するJR松山駅の鉄道高架、松山港外港、中島環状線をはじめ、道路や港湾等の事業費の一部を負担し、良好な都市・交通基盤の整備を進める。

加えて、社会保障関係経費について、次年度からの制度改正に対応するため、生活保護事業及び国民健康保険事業に係るシステムを改修するほか、過年度の実績確定に伴う国庫負担金の精算返納などを行う。

そのほか、指定管理業務の更新、坊っちゃん文学賞の公募、予防接種のワクチン供給などに係る債務負担行為を設定し、次年度当初からの執行に必要な準備を行う。

なお、人件費については、人事院勧告などに準じた給与の引上げを行うとともに、年度末までに必要な見込額を精査し、必要な補正を行う。

2. 主な事業

(単位：千円)

(1) 防災計画策定事業（国土強靱化地域計画策定事業）	2,000
(2) 福祉避難所機能強化・整備促進事業	4,129
(3) がけ崩れ防災対策事業	109,500
(4) 松山城管理事業ほか6事業（キャッシュレス決済導入分）	3,468
導入箇所：松山城、二之丸庭園、道後温泉(本館・椿の湯・飛鳥乃湯泉)、坂の上の雲ミュージアム、子規記念博物館、鹿島渡船 計8箇所	
(5) ASF（アフリカ豚コレラ）対策事業	1,196
(6) 流域森林総合整備事業	6,397
(7) スポーツシティまつやま推進事業(オリンピック・パラリンピック選手団合宿受入事業、東京2020オリンピック聖火リレー実施事業)	9,409
(8) 愛媛県土木建設負担金（道路・街路）事業	395,973
(9) 松山港国直轄整備事業地元負担金	164,730
(10) 県営港湾・海岸整備事業地元負担金	106,825
(11) 職員人件費	179,441

3. 補正予算の総額

(単位：千円)

区分	12月補正額		累計	対前年同期伸率
	通常分	人件費分		
一般会計	1,536,269	146,697	189,445,162	△ 0.45 %
特別会計	468,717	32,744	132,490,255	2.28 %
企業会計	—	—	48,909,400	0.45 %
計	2,004,986	179,441	370,844,817	0.62 %
公債管理特別会計	—	—	23,263,200	
合計	2,004,986	179,441	394,108,017	

4. 議案等

- 予算案 14件
- 条例案 7件
- 事件案 5件
- 人事案 1件
- 計 27件
- 報告 5件